

指導方法等の改善計画について [英語科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 60.3%, 県 69.6%)

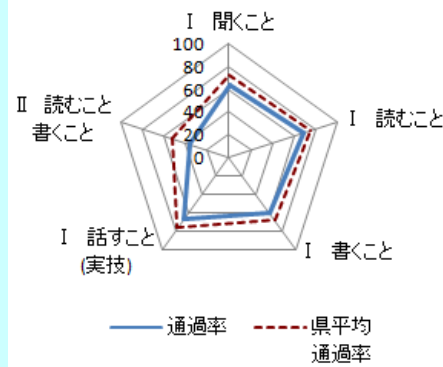
対県比 86.6%

本年度の結果について

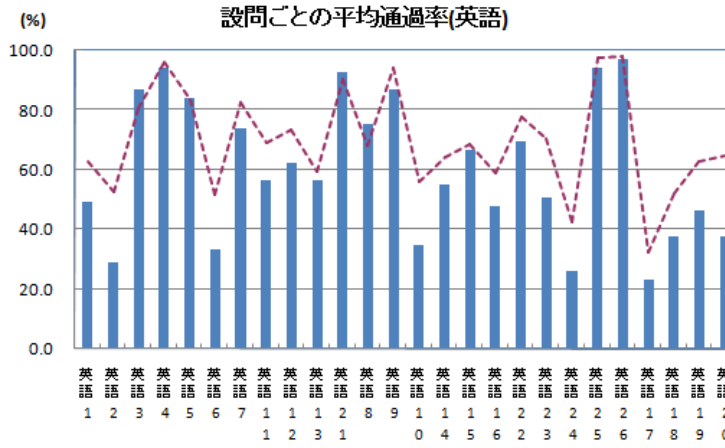
英語の結果において、タイプⅠは65.0%、タイプⅡは36.2%の通過率となっている。また、「聞くこと」「読むこと」の領域において、英語での問いかけや会話文での適切な応答や、適切な文の組み立てに課題がある。また、「書くこと」「話すこと」の領域においては、英語の基本を理解して文を作成することや、自分の考えや気持ちなどが相手に正しく伝わるように表現することに課題がある。

領域別平均通過率

領域別平均通過率(英語)



設問ごとの平均通過率



重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(正答率 29.0%) (対県平均-23.7%)

- 1 2 2人の対話文を聞いて、この2人の後に続く英文として適切なものを選ぶ問題
Can のいろいろな用法が理解できていない。

【課題2】(正答率 34.8%) (対県平均-21.0%)

- 6 2 ② 単語を正しく並べかえて対話文を完成させる問題
What + 名詞 の形が理解できていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (55%) 実施後数値 () %

場面設定を意識して対話分を理解するように工夫する。特に Can を使った疑問文では、相手から可能かどうか質問されているのか、依頼をされているのか、相手の発言の意図を正しく理解し、適切に応じることができるよう対話の練習時にはジェスチャーを入れさせたり、イントネーションを意識させたりするなどの指導の工夫を行う。

【課題2】目標値 (60%) 実施後数値 () %

語と語のつながりや品詞を意識しながら英作文をさせたり、和訳をさせたりする活動を仕組んでいく。また、疑問文を作る際に、対話の相手がどのような答え方をしているかを意識して文を作るよう仕組む。What の後には疑問文の形が来ることは理解しているが、What + 名詞の語順の可能性もあることを理解し、どちらのパターンで疑問文を作るかを意識させていく。

※今後の改善計画については別紙